

令和2年度 教科シラバス（デザイン・アートコース）

教科	美術	科目	表現基礎
単位数	3単位		
教科書	高校生の美術1（日本文教出版株式会社）	副教材	なし

学習目標

様々な画材に触れることで、自分に向いている画材、好きな技法の発見に取り組む。完成度の出来不出来に関わらず、多くの実験に取り組んでほしい。

学習内容

前期（4～9月）	後期（10～2月）
<ul style="list-style-type: none"> 水彩画：風景画の制作 アクリル画：静物画の制作 	<ul style="list-style-type: none"> 日本画：自由制作 油彩画：名画の模写

学習方法

前期（4～9月）	後期（10～2月）
<ul style="list-style-type: none"> 水彩画の道具一式を用意し、見附の商店街の風景写生をする。絵の具の使い方と大まかな構図の取り方を教え、場所は自分たちで決めさせ、自由に描かせる。 アクリル絵の具とキャンバスボードを使用し、静物着彩をしてもらう。乾きが早く重ね塗りに向いているアクリル絵具の特徴をよく理解し、色面、線、ぼかしでどこまで表現できるかを学んでもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本画材は扱いが難しいので、絵具の性質を理解してもらうところに重きを置く。また、描く内容はイラストでも良いものとする。日本画と浮世絵、現代のイラストの関係性についても話をする。 油彩画の基礎的な技法を教え、描く対象を「名画の模写」とする。模写をすることで、先人の技法を習得する。また、乾きが遅い絵具であるという特徴も理解しながら、作業工程を考えて行ってほしい。

評価方法

・出席時数、授業態度、理解を深めたか、成長の度合い、課題作品の完成度。